

令和5年2月24日

futbol y vida



Poco a poco ...
 poco a poco ...

新人戦 VS 法政 は、薄氷の勝利!!
 次戦ライバル松が谷には**必勝**で!!

新人戦 VS 法政 苦しみながらも **2-1** 勝利で結果を引き寄せる!!

次戦の松が谷高校戦はライバル校に“K's football style”で挑む!!

2月19日(日)、順延となった新人戦四回戦 VS 法政は、松が谷高校会場に変更され予定通り行われました。片倉高校は新チーム初の公式戦となります。主力の二年生が二日前に修学旅行から戻り、五日間トレーニングができていなかったため、前日は実践トレーニングでゲームの感覚を取り戻すために日野台高校に無理を言って TRM を組んでもらい、翌日の公式戦に臨みました。ここ二年間、法政高校とはユースリーグで対戦し現在二連勝中。恐らく、昨年末に勝利してここまでの期間、しっかりトレーニングして向かってくるだろうと思っていました。Wup から勝利に対する渴望が伝わってきました。



<2023 新チーム初の公式戦メンバー>

キックオフから、法政の勢いに押し込まれる場面もあり、トルメンタ(ぐるぐる回る)を使ったCKではシュートがポストに当たるなど、しっかり守備を整えてこちらのボールを奪い少ないチャンスを早く仕掛けゴールに繋げるトレーニングをしてきたのが伺われ、ベンチからの指示も良く片倉を研究しているなど感じました。しかし、前半飲水タイム後から相手陣地でのプレタイムが長くなり、ゴールに迫る回数も増えてきます。すると、中央で縦パスが入ると松江(2年)のワンツートで抜け出した酒井(2年)がゴールを決め先制。その五分後にも中央を崩し熊谷(2年)のシュートがバーに当たりその零れを歳森(1年)が押し込み二点目。ゲームを優位に進めます。

後半は、点を取るしかなくなった法政が前掛かりに来ますがそれは想定内。前半同様こちらのボール保持時間は長く再三左サイドからチャンスを作りますがゴールを奪えずに、時間の経過とともに攻撃もやや単調になります。後半10分に相手のカウンターから見事なシュートを決められますが、ゲーム終盤はセットプレー以外ピンチも作らせずにそのままタイムアップ。公式戦初戦の緊張感や劣勢時でも平常心でプレーできるかなど、課題も露呈しましたが、新チームの公式戦としては、修学旅行明けの厳しいスケジュールの中、怪我人も多く現有戦力で片倉らしい攻撃の形も見られ結果を導いたことは大きな自信となります。特に、相手チームに構えられ研究された中で結果を出していくことは難しいものです。昨年の選手権の結果もあり、他チームの包囲網は厳しくなっているように感じます。チームが強くなるためには目の前に現れる壁をひとつひとつ乗り越えなくてはなりません。次戦の松が谷高校戦でも試練は待っています。



ポパイのほうれん草～サッカー部“食育”セミナーがスタート!!

2月5日(日)、新チームの新たな取り組みの第二弾として、“食育”セミナーを知人を通して紹介を受けた管理栄養士の佐藤彩香さんに依頼して実施しました。毎日のトレーニングはピッチ上でサッカー(スポーツ)のパフォーマンスアップ(スキル・フィジカル・戦術・メンタリティの向上)を目指して行なっていますが、その土台となる身体作りのために必要不可欠な食事についての知識(食の教育)は高校生年代ではまだ不十分です。しかし、生活の中で食事は1日3回、年間千回、



<佐藤さんによる食育セミナースタート>

三年間で三千回あると考えると、スポーツをする上で食事について正しく理解する必要があります。“トレーニング―食事―睡眠”のサイクルを確立し、更にサッカーで成果を出せるように意識改革していくことが今回の目的です。何事も日々の積み重ねが大切です。

また、今回はサッカー部員だけではなく、14名の保護者(一番の協力者)と既に合格が決まっている中学生(今後の活動に活かされるといいですね)も参加し貴重な講義を聞いていました。今後、この食育セミナーは佐藤さんに年間四回実施していただくとともにいつでもオンラインで情報交換ができるシステムになっています。早速、保護者の方からLINEで質問や献立に困っているという相談がありレシピを作ったという報告を頂きました。是非、LINE登録していただいて佐藤さんからいいアドバイスを頂いてください。

“食育”セミナーを通して食事に関する意識を変えて、まずは実践できることから少しずつ始めていきたいものです。

片倉高校サッカー部の冬の風物詩「寒稽古」第二弾も無事に終了!!

片倉高校サッカー部冬の鍛錬期の代名詞である「寒稽古」第二弾は、修学旅行の日程の関係で2月2日から土日を挟み8日までと変則日程での実施となりました。三週間前の第一弾より寒さも和らぎましたが、それでも冬の早朝の冷たい空気は身に凍みます。その中で、予定通り子どもたちは白い息を吐きながら元気よくボールを追いかけていました。

「寒稽古(朝練習)」とは、何のためにあるのか?子どもたちは自問自答しながら臨んだ二週間の冬の早朝のトレーニング。『早起きは三文の徳』とは言いますが、「寒稽古」の全行程の10日間をやり切れたものは、大きな自信にして自分の成長に繋げて欲しいと思います。

そして、寒稽古時の影の殊勲賞であるお母さんたちの早朝お弁当には感謝感謝感謝です!!

